

令和4年3月25日号

発行所／(有)アミックス  
〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟  
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

シバタ オレンジ プレス ■毎月25日発行 vol.123

特集 假屋崎省吾フラワートークショー



「しばた」  
を知って楽しみ、  
「新しいしばた」  
の町をつくる新聞

新発田農業ファーム  
高橋農園の  
手作りジャム

600円税込  
●ルレクチュ  
●りんご ●桃

高橋農園  
(新発田市横山1314)  
TEL 0254-29-2287  
http://takahashinouen.com/

ジャムやジュース販売中!  
ご購入に人気です。

原料はすべて  
自然由来です

## 心温まる假屋崎省吾の フラワートークショード

3月6日(日)、市民文化会館で、「假屋崎

フラワー・デモンストレーション&トー

クショー」が、感染症禦の制限のあるなか、約650人の観客を集めて開催された。心温まるトークと掛け込みのデモンストレーションで、地元の花材を使ってくれて、新潟田のバラ生産者を舞台に招き上げて花の解説を求めるなど、会場は終始「幸せな雰囲気に包まれた」。ショーの後には観客者に地元の花も配られていた。

＊

假屋崎省吾さんは、草月流で本格的に花の修業を積んだ後、「花ほしのビタミン」をキャッチフレーズにして精力的に全国を

回って花を届ける』との趣意を伝えてい

る。

「花の師は初使河原宏先生、人生の師は美輪宏宏さんと公言する通り、美輪さんから大きな影響を受けていて『美しいものに囲まれている』と自分も美しくなる』感想論だ」「堅苦しい考え方ではありません、花の言葉を聞き、花の言う通り、衷心なく活ければそれでいいです」とも。

クリントン大統領来日時や、日墨邦交回復回続いた大規模な掛け花の展覧会は有名だが、新潟にもたびたび訪れている。機会があればぜひ。



新潟市役所の出来島桃子選手が、北京冬季パラリンピックの個人4種目、団体種目に登場した。5大会連続出場の快挙である。

8日(火)の午後には、中央所管の射撃場でパブリックビューイングが行われ、母親のまり子さんと、市長・議長のほかに市職員、スポーツ関係者を約60人が大型画面のライブ配信にぎわいにパルーンを打ち鳴らしながら声援を送った。感染症対策で声援は控え自じのところだったが、射撃エアライフル)が的命中すると思わず「よし」と声が上がり、大いに沸いていた。本人は射撃の調子はいいと言っていたそうだが、当日は気温が上がり、音が響みやや走りにくかった。個人競技の成績はバイアスロン(距離競技+射撃)女子6キロ立位で14位(同10キロで10位、同12・5キロで12位、スキーリレー10キロ立位で14位)と健闘した。

右手に筆者のある出来島選手は、昨年

年の入院で、入院後本格的に競技を始めた。

練習環境に苦労するなか、仕事と競技を両立させていているのは本人の並大抵でない努力

はもちろん、周囲の人たちの理解と協力の

## 5大会連続バラ五輪、 出来島桃子選手出場



3月8日(火)、市役所



### 県内まん延防止措置解除、 感染者数は漸減傾向か

8月7日(月)から、本県のまん延防止措置が解除された。県によれば感染者数は高止まりしているものの、「医療体制がひつ迫してない」からで、確かに重症者も少ない。新潟市では「今・得キャンペーン」を再開し、経済に舵を切った格好だ。ただ、感染の中心が10歳以下の若年層であることは前月と変わりない。ワクチン接種の加速と共に手洗い・マスク着用など、基本対策を徹底したい。

それはときに心に安らぎをもたらす福音はあるが、平稳な「当たり前」は無残にも破壊されたのを目の当たりにして、平稳に暮らせることは決して「当たり前」だった風景が、家族が、被災地を取材して回ったとき、それまで「当たり前」だった風景が、家族が、無残にも破壊されたのを目の当たりにして、平稳に暮らせることは決して「当たり前」でないことを痛感したはずなのに……人は忘れるものである。それはときに心に安らぎをもたらす福音はあるが、平稳な「当たり前」は努力なくして得られないものと、今一度思い知らされた。ウクライナの人たちの戦いぶりを見ているとなおさらである。▼そういえば「勇氣こそ地の塩なれや梅真白」(中村草田男)の句もあつた。ウクライナの人が再び花を楽しめる日が来ることを念じつつ、出来

### コラム

ありがたい



庭の梅

# 感染症の収束後を見すえて積極的な産業振興策推進を

2月15日(火)の全員協議会を皮切りに、新発田市議会2月定例会が開催された。代表質問には各会派から5人、一般質問には1人が質問に立ち、市長の政治姿勢をたたした。代表質問はワクチン接種・子宮頸がん予防・新事業・農業振興・青少年育成・協働推進・施設利用・デマンドタクシー・インボイス制度など、一般質問は文化財活用・ヤングケアラー・平和的変革ビジョン・文化振興・街並み整備・コロナ対策・75歳以上の窓口負担増反対・ゼロカーボンシティ・市のブランディング・人権侵害・森林資源活用・街灯・国民健康保険・空き家・市教委の組織的問題など多岐にわたった。これとは別に予算委員会は10人で審議された。令和4年度予算は3月24日(木)の本会議で審議・採決される。代表質問・一般質問の質問と市長答弁から主だったものを要約して掲載する。

## 【阿部議員の代表質問】 感染症の収束後を見すえて積極的な産業振興策推進を

昨年、私は来年度(つまり今年)の「産業振興策」はやや弱い。収束までは仕方がないが、今までなかつた根柢が必要だ。強みだった食品産業のみならず、ICT化やインターネット関連産業の誘致や脱炭素社会を見据えた産業なら、新産業の誘致も具体化すべき」と質問した。予算案を見ると4年度の産業振興策も弱い。市長の方針を伺う。

① 農業の「オーガニック推進」は、單発で

あし出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

は効率的でない。他の農産物や観光等にも活かすべきではないか。

② 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

③ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

④ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑤ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑥ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑦ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑧ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑨ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑩ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑪ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑫ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑬ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑭ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑮ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑯ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑰ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑱ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑲ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

⑳ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉑ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉒ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉓ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉔ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉕ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉖ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉗ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉘ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉙ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉚ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉛ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉜ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉝ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉞ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

ち出した。多様な取組と、特に専門知識を持った職員の養成または招聘(しょうへい)

が義務ではないか。

㉟ 「旧天王小学校シェアオフィス化」を行

# ウクライナ侵略を非難する 決議、新発田市議会で可決

2022年4月1日(金)、新発田市議会本会議で「ロシトウルのハクライナ侵略有罪難かの決議」が賛成多数(賛成21・反対1)で可決された。決議文は次の通り。

「我が國を始め国際社会の尊重めざす立場からわが邦、貢献田ロシトウルは大差してウクライナへの侵略を開始した。その侵略は何の罪のない多くの民間人を犠牲にし、ウクライナ全土を恐怖と悲しみと死んでいた間に及んでしまった。併じて許されがゆくがな。

また、ウクライナの主権及び領土の一体性が、ロシア軍の蹂躪(じゅわん)によりまするに連鎖反応であり、国際社会の秩序を根本から崩壊(くず)かねない極めて深刻な事態である。新潟田中及び新発田市民は世界のすべての国が核兵器の武力から解放され、平和な国際社会を築くことを希求する『核

兵器開発禁制都市』である。これが目的

のロシトウルの暴力行為から守られた理

由をもつが、さすがにやうどあり、新発田市

ロシトウルの侵略を最も強く言葉で非難する。

政府におかれでは、現在在留邦人の安全

確保に全力を尽くすとともに、速やかな国

際平和実現のため、国際社会へ連携しロシ

アとは制裁ならぬ毅然たる態度で臨み、ウ

クライナに対しは人道支援を急務に

対応するようお願いする。

決議は政府に対して提出される。

まだ同日、中央新聞の会見室で、古川有志

約70人がウクライナ国旗や「NO WAR」と書かれたマグネットを掲げ、ロシアのウク

ライナ侵攻に対する抗議活動が行われた。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。

4月23日(土)朗読会を開く。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。

木裕子と新潟の朗読界のアクトンナー、

加藤博久が「名作に酔う春の宵」を開催。



## 青木裕子＆加藤博久朗読会 『名作に酔う春の宵』開催！

あかび上がる珠玉の掌編。加藤の「語りは

聞き通せない。

○読み手○加藤博久(かとうひろひさ)

朗読家。一般社団法人日本朗読検定協会

プロデューサー・検定員。2019年第11回、青空文庫朗読コンテスト全国大会審賞委員。新潟日報社はじめ各種朗読教室講師

を務める一方、自身の「語り」の朗読公演活動を展開している。

＊

☆あすじ☆『春の雁』(はるかり・吉川英治)

長崎から通じし舶来の文物を携えて全国

の色町を行商して歩いている清吉は、ある

日は川・深川の「通船屋」を訪れ、おかみに

古渡の着物・唐襷を売る。深川は使(きやん)

と意地=差し支つたを信条とする不思議な

色町だ。清吉は使(きやん)と意地を賣ぐ生

き方に不思議な通和感を覚えたながら、次

第に惹かれてゆく。あの口、それで、底田若者

の新(ひよし)の田舎(いなか)に田舎(いなか)を

やがて新入の抱(いだ)きの借金を清代わりして

一緒に長崎へ逃(のが)れようとする。しかし…。

同じ情緒(じゆう)の中、朗読の第一人者・青木裕子

が讀(よ)み出(だ)す。人生輝(てる)めし半(はん)世(せい)に

チケットはトントン通りです。新社ア

## 「「ロナ対策に集中したい」 二階堂氏4選出馬明言せず

2022年4月1日(金)、新潟田市議会本会議の代表質問で、最初に質問した六頭前議長が二階堂氏

は「西原市長(ひろし)」の期(ひ)2年の締切(じてき)4月

出頭(しゆとう)の意(い)向(むき)など、任期は達成(たつせい)の

評価(ひやく)と謝意(しゃぎ)を述べ、「西原の集大成(しゆだいせい)の

事業を看(み)たて、ボストロナに向(むけ)て中

間の指揮(しゐ)を切り、経営方針(ほうしん)を最優先(さいゆせん)に実

施(せ)を進(すす)めることを約定(やくてい)した

が今後(こじゆう)も継続(けいぞく)して実現(じじん)する

回復(かいふく)と令和(れいわ)の中期(ちゆうご)の財政(ざいぜい)を

を詮(こと)ねた中(なか)で、いよいよ実績(じせき)を説(せつ)いて市長

の合(あ)わせて、経営方針(ほうしん)を最優先(さいゆせん)に実

じて、この日(じゆふ)は約(やく)8人が出席(しゆつじゆ)して、水道(すいどう)改修(かいしゅう)された自身の後援会(こうえん)幹事長(かんじじょう)の吉川英治(よしかわひでじ)と、新潟市議(ぎぎ)会(かい)議長(ぎじょう)の青木裕子(あおきゆうこ)が出席(しゆつじゆ)。新潟市議(ぎぎ)会(かい)議長(ぎじょう)の青木裕子(あおきゆうこ)は「後援会(こうえん)に相談(じやうだん)して庄野(やまの)さんがあなたを承認(しようにん)して貰(もら)った。その後(の)動向(どうこう)は後援会(こうえん)役(わく)の吉川(よしかわ)さん

に連絡(れんらく)が一人(ひとり)。昔(むか)い取りはやつてへんが、

師匠(ししゆう)・一立(いり)文(ぶん)事(じ)も死(し)て別(べつ)れ

てしまった。しかし、一立(いり)文(ぶん)事(じ)は「お前(まへ)の

言(こと)葉(ば)がいい。お前(まへ)の「後援会(こうえん)」はまだ新

潟(なが)田(た)の「後援会(こうえん)」だ。」と吉川(よしかわ)さん

が「あすじ」の著(あきら)き正岡容(まさおか よう)の「置(おき)土(ど)産(さん)」(ねぎやけ・正岡容(まさおか よう))と題(ひ)て書(か)いた詩(し)の「春(はる)の雁(かり)」を歌(うた)う。吉川(よしかわ)さんは「

○あすじ○置(おき)土(ど)産(さん)(ねぎやけ・正岡容(まさおか よう))  
○あすじ○春(はる)の雁(かり)(吉川英治(よしかわひでじ))  
○読み手○加藤博久(かとうひろひさ)  
朗読家。一般社団法人日本朗読検定協会  
プロデューサー・検定員。2019年第11回、青空文庫朗読コンテスト全国大会審賞委員。新潟日報社はじめ各種朗読教室講師を務める一方、自身の「語り」の朗読公演活動を展開している。  
＊



# 心も体も喜ぶ健康になれる デイサービスセンター 陽だまり苑 ふえりあ

4月1日(金)オープン

皆様のご利用を心からお待ちしています

加齢や疾病による体の衰えを改善したい方が選ぶ ヘルスケア 3 選



## 新 発 田 藩 の 歴 史 資 料

令和4年度 春季通常展

4|9 土 → 6|12 日

開館／9時～17時 入場無料

月曜休館(祝日開館・翌日休館)

GW休館日 4/25(月)、5/2(月)、5/9(月)

\*展示室は通常通り開館しております

城下町まち歩き(清水谷編)  
5/14(土) 13:30～16:00 終了予定

一江戸時代の町絵図を手掛かりに歴史散策をしませんか？

定員／15名(申し込み先着順)

対象／どなたでも(各コース初めての方を優先します)

参加費／200円(当日徴収)

集合場所／中央図書館(イクネスしばた3階 多目的室6・7)

申込受付／4/15(金)～5/13(金)まで当館へ電話、

または直接事務室へ申し込んで下さい。



新発田市立歴史図書館 新発田市中央町4-11-27 0254-24-2100

## 蕗谷虹児記念館

蕗谷虹児 編集初参加 少女雑誌『令女界』(1922-1950)創刊100年



大正から昭和にかけて、少女雑誌などで人気を博した新発田市出身の挿絵画家・蕗谷虹児(1886-1979)。

15歳で日本画家を目指して上京。竹久夢二の知遇を得て22歳で『少女画報』に口絵を描いてデビュー。続いて新聞連載小説の挿絵、『令女界』の表紙絵のほか、愛唱歌となった「花嫁人形」の詩や書道の装飾など、瞬く間に文章も絵も両方手掛ける話題の二刀流花形作家となります。



会期：  
2/1㊁→4/17㊁

会場：

蕗谷虹児記念館

休館日：月曜(祝祭日は開館)

2/8㊁・2/9㊁臨時休館

入館料：一般・大学生 510円

(20名以上は団体料金410円)

高校生 210円、小・中学生110円

\*障がい者手帳・複数手帳をお持ちの方は割引となります。

\*新型コロナウイルス感染症等で開館日時の変更や中止の場合は新発田市のホームページでお知らせいたします。当館案内をご確認ください。

\*ご来館の際は、検温やマスクの着用・手指の消毒にご協力をお願いします。

〒957-0053  
新発田市中央町4-11-7  
電話&FAX 0254-23-1013

Koji Fukuya  
コレクション展